

悪ふざけの投稿が取り返しのつかない事態に……

店の中や公共施設などで悪ふざけをしている様子を撮影した動画や写真を、インターネット上に投稿する人が後をたちません。こうした投稿をすると炎上し、大きな問題に発展してしまう可能性があります。

悪ふざけの投稿の例と、そのような投稿が招く事態

インターネット上の悪ふざけの投稿の例としては、以下のようなものがあげられます。

- ・飲食店で、客が共用する調味料などにいたづらをしているもの
- ・店の中や、駅などの公共の場所で、ダンスをするなどの迷惑行為をしているもの
- ・電車の線路内など、立ち入り禁止場所に進入しているもの



このような投稿をすると、投稿を見た人から非難のコメントが殺到することがあります。さらに、SNSの過去の投稿などから個人情報を特定され、問題の投稿と一緒にインターネット上に拡散される可能性もあります。一度拡散された情報を完全に消すことは難しく、インターネット上にずっと残り続けることになってしまうのです。



●●●（店の名前）の動画炎上事件の犯人を特定！



【被害店舗】

●●●□□店

【名前】

○○ A男

【年齢】

15歳

【学校】

□□県◆◆学校1年

保護者の皆様へ

悪ふざけの投稿をすると、最悪の場合逮捕されたり、対象の飲食店などから多額の損害賠償を請求されたりする可能性があります。また、特定された個人情報が問題の投稿と一緒にインターネット上に残り続けることで、進学や就職など、子どもたちの将来にまで悪影響を及ぼしてしまうかもしれません。

このような投稿をする子どもたちは、友だちだけに見せるつもりで投稿しているものと思われるかもしれませんが、インターネット上の投稿はどんな人が見ているかわかりません。友だちだけしか自分の投稿を見ることができないサービスでも、友だちが投稿を保存し、おもしろ半分には他の友だちに送るなどして、情報が広まっていくこともあります。

そうした危険性を子どもたちに理解させ、人の迷惑になるような行為は絶対にしないこと、更にそのような行為を撮影しないことを徹底させましょう。

熊本県教育委員会

Copyright (c) 2007-2022 Pole To Win, Inc.